

萬鳴もの 井二 おらんだ細工物處



鼓笛佳響紅毛精巧
各應諸君需要只願
俟好子幸轉耳

四方は富貴方途馬法榮入は遊忍候極楽なる
 随て拙肆の事日まはせお茶葉は初毛御子戸は東也
 一切の鳴物の東南西南北花街の事とを向かひお
 州の鳴離行える浪花屋とて用御付と日日夜
 諸彦子骨董店に屍をもてふあつて御有難は合
 せ存人御お世長とて店同所前向ひ愛宅付ひ
 月代代名物菓子の改別して初毛精工其外楽器
 風流鳴物戲物雜具種々鳴物類の事とて細工の神
 鳴もの事と時今の鳴物は至るまで新古雅俗とて
 三々圖會はとて物産は山ははとて鼓吹調は
 京都の極品とてあつて篠笛の江戸三田節の正銘とて
 願分下事とて上代品物とて御見ふの上格外御意は叶ひ
 ひ候はとて御見ふ物日限お定子速市間合戸の
 多不御愛用御し御付とて換偏とて希上以上
 一 紅毛子キ元孟雲遠鏡具外御見ふは
 一 坐蒲唐繚子ば道具類
 一 鼓たのこ果もと鄭大鼓類
 一 箏算横笛志の之艶笛尺八囀叭太平箏
 一 琴三弦胡弓木琴錢胡弓
 其外度々御見ふの類とて御見ふ物寸分ちが
 はとて上ひ

大阪富内心戈搗
 浪花屋周助

